

平成29年度 年間事業計画

鳴水保育園

待機児童の増加、保育士不足の問題は保育園だけではなく、国の課題になってきている。保育園としても保育士を確保する努力を行い、待機児童の解消を目指す責務があると認識している。

また、家庭への子育て支援は益々重要視され、今後さらに保育園の責務が求められるため、行政からの情報を正確に職員や保護者に提供していくと共に、職員も子ども達の健やかな成長を目指して意識や資質の向上に努めていく必要がある。

当園は開園14年目を向かえ今年度は機械の故障や施設の修繕等が増えることと考えられる為、適切な状態を維持し、安全第一に努めていく。

今年度も変わらず地域との交流を通じ、園児に様々な体験をさせることによって成長を促す。

【平成29年度重点的な取り組み事項】

1. 保育内容の向上

職員の専門性を高めていくため、各種研修会への参加や園内研修・リーダー会議をより充実させ、リーダーとしての自覚・クラス間の協力体制の強化を図る。

また、さらなる保育の資質向上を目指し、保護者と保育士が共通理解し信頼できる保育園を目指して、今年度も職員一同、子ども達のために保育に取り組んでいく。

キャリアアップ制度については、経験年数や職務等に応じた要件を定め、副主任や専門リーダーを配置すると共に他の職員に適正に周知する。

2. 円滑な園の運営と充実を図る

園外保育や地域の行事に参加し、地域との交流の輪をより一層広げ、充実させる。

(1)地域交流について

地域住民の方も参加している総合避難訓練、ばち川周辺の清掃活動は今年度も継続していく。

また、今年度はミニ発表会に地域の方々を招待し、より一層交流を深めていく。

(2)小学校との交流

児童と園児の交流だけではなく、教職員と保育士の意見交換を行い、双方の課題を共有していく。

また小学校の授業参観にも参加し、卒園児を見守ると共に授業等の学校生活の様子なども参考にする。

3. エコ活動の取り組み

ペットボトルのキャップは収集し、スーパーに持参しているので継続する。

【 平均児童数／4月入所予定児童数 】

定員：120名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平均児童数	11名	20名	23名	21名	22名	22名	119名
4月入所予定児童数	9名	23名	22名	24名	20名	22名	120名

【一時保育 利用状況見込数】

〔年間〕

未 満 児		以 上 児		合 計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
200件	400,000円	20件	30,000円	220件	430,000円

※ 一時保育

- ・通常保育の集団構成と異なることから、一人ひとりの子どもの心身の状態、保育場面への状況などを考慮して保育するよう心がける。
- ・保育園に来た日が、子どもにとって気持ちよく、ゆったりと過ごせるよう心がける。

《 職員配置 》 必要に応じて日々代替職員を雇用

【延長保育 利用状況見込数】

利用登録人数（年間）	200名	平均実利用人数	12名
------------	------	---------	-----

※ 延長保育

- ・長時間保育になるので、通常保育とは異なる雰囲気作りに心がける。

《 職員配置 》 延長保育の保育士数 4Hパート 1名
 正規・常勤臨時職員 1名
 （・・・ローテーション、時間外で対応）
 利用人数により随時職員を増やしていく。

1. 保育理念

児童福祉施設として、乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人ひとりの特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指す。

2. 保育方針

- ・ 日常生活の会話を通して豊かな感性、創造性を培う。
- ・ 園外保育や地域の行事を、積極的に取り入れる。
- ・ 愛情と信頼関係をはぐくみ、人間関係の輪を広げる。
- ・ 十分に養護の行き届いた、環境を作る。

3. 保育目標

一人ひとりの個性を大切にしながら、心身ともに健やかに生活し、将来健全な社会人に育つための基礎を培う。

- ・ 健康で元気に活動できるからだ
- ・ 自分で考えて行動する力
- ・ 豊かで思いやりのある優しい心

(1) 保育内容

- ・ 保育所保育指針を基に保育課程に添って指導計画（年間・月間・週間）を立案し、子どもたちが常に情緒の安定した生活が送れるような保育を進めていく。
- ・ ゆったりとした楽しい雰囲気の中で基本的な生活習慣が身につくようにする。
- ・ 友だちとのあそびを通して社会性、協調性、仲間意識、友だちへの思いやりが育つようにする。

(2) 行 事

年間行事計画は別紙1の通り

- ・ 園外保育、水あそび、遠足等は事故防止対策について職員間でよく検討してから実施する。
- ・ 生活発表会、運動会等は個性を大切にしながら一人ひとりが楽しく参加できるようにする。

(3) 安全対策

- ・ 避難訓練を毎月1回、多様な場面（火災・地震・災害）を想定して行う。年2回は総合訓練を行う。
- ・ 園外保育などに備えて、北九州交通公園の職員による交通安全教室を開き、適切な指導を受ける。
- ・ 警察署による不審者への対応策の指導を受ける。
- ・ 安全管理に関し、職員の共通理解を図ると共に日頃から職員間で情報交換を行う。（不審者の立ち入り等の緊急時の体制、火災発生時の体制等）
- ・ 送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。
- ・ 与薬については、医者が出した薬のみに限る。その際必ず所定の用紙に記入するよう周知徹底する。
- ・ 食中毒等については、常に衛生管理に気をつけ、調理員については特に食中毒予防に努めるよう指導する。

(4) 地域との交流

- ・ 地域の行事に参加することにより、地域住民との交流の輪をより一層広げていく。(なるみずまつり、鳴水市民センターまつり、古紙回収等)
- ・ 地域の方々を保育園に招待し、世代間の交流を持つ。(ミニ発表会、夕涼み会、昔あそびの伝承など)
- ・ 「さわやか鳴水館」の入園者との交流を深める。(施設訪問、保育園への招待)
- ・ 未就園児のあそびの広場として園庭を解放すると同時に、保護者に対しては育児相談を受ける。

(5) 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

(保育時間を超える時間は、延長時間として対応)

(6) 各業務担当者

クラス担当保育士、調理業務担当、事務担当を定める。

(7) 職員研修

- ・ 全国大会をはじめ、福岡県、北九州市、北九州市保育士会及び八幡西区が行なう各種研究研修会に参加する。
- ・ 上記の研修を通して園内研修を行い職員相互の資質の向上に努める。
- ・ 日々のリーダー会議や毎月の職員会議において、日常の保育や指導計画の立案時の問題点について話し合い共通理解を持つ。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、明るく楽しい職場作りをする。

4. 保育担当者

別紙2の通り

5. 保育設備

(1) 敷地 北九州市八幡西区東鳴水2丁目12番34号 2,416.52㎡

(2) 建物 鉄筋コンクリート造 2階建 967.68㎡

6. 資金計画

通常経費は、委託費収入・私的契約利用料収入・補助金事業収入・受託事業収入・受入研修費収入・利用者等外給食費収入・その他の事業収入・雑収入・受取利息配当金収入等によるものとする。

【 平成 29 年度 行事予定 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
4 月	平成 29 年度 入園・進級式 保護者説明会・クラス懇談会 園内固定遊具安全指導	全児・保護者 保護者 3 歳以上児	保育園内 保育園内 保育園園庭
5 月	園児健康診断 親子遠足 消防総合訓練 卒園児交流会 シルエット劇 年長者との交流 職員健康診断	全児 全児・保護者 全児・地域住民・消防署 全児・卒園児 年長児 3 歳以上児・地域年長者(ころばーず) 全職員	保育園内 グリーンパーク 家庭→保育園 保育園内 ひびしんホール 保育園内 保育園内
6 月	歯科検診 個別懇談会 保育参加(参観) ホットケーキクッキング	4・5 歳児 全児の保護者 全児・保護者 年長児	保育園内 保育園内 保育園内 保育園内
7 月	プール開き 七夕まつり なるみずまつり 交通安全指導	全児 全児 全児・地域住民 3 歳以上児	保育園内 保育園内 保育園周辺 鳴水小学校
8 月	プール納め 夕涼み会	全児 全児・保護者・地域住民 未入園児と保護者	保育園内 保育園園庭
9 月	敬老の日(施設訪問) 運動会	年中児 全児・保護者・地域住民 未入園児と保護者・鳴水館入園者	さわやか鳴水館 保育園園庭
10 月	カレークッキング 遠足 プラネタリウム見学 消防総合訓練 園児健康診断	全児 全児 年長児 全児・地域住民 全児	保育園内 (未定) 児童文化科学館 保育園園庭 保育園内
11 月	鳴水市民センターまつり 一日保育士運動	全児 地域住民	鳴水市民センター 保育園内
12 月	生活発表会 ミニ生活発表会 クリスマス会	全児・保護者 全児・鳴水館入園者・地域住民 全児	保育園内 保育園内 保育園内

実施月	行 事	参 加 者	場所・会場
1 月	保育参加	全児・保護者	保育園内
2 月	節分 消防総合訓練 個別懇談会	全児 全児・地域住民・消防署 保護者（希望者）	保育園内 家庭 → 保 保育園内
3 月	ひなまつり お別れ交流会（バイキング） お別れ遠足 卒園式 修了式 交通安全指導	全児 全児・地域住民 全児 年長児と保護者・年中児 全児 全児	保育園内 保育園内 （未定） 保育園内 保育園内 保育園内
<p>1. 月例行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・避難、消火訓練 ・身体計測 ・全職員細菌検査 ・調理関係、0歳児担当職員〇—157検査 ・リーダー会議 ・定例職員会議 ・園内研修 <p>2. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業協会 所(園)長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。 ・お泊まり保育（年長児） ・保育参加（年2回…6月・1月） ・園児健康診断（年2回…5月・10月） ・給食試食会 ・職場体験学習（黒崎・熊西・引野中学校） ・鳴水小学校との交流 ・未入园児との交流（なるみずっこ） ・地域との交流（一人暮らしの年長者慰問、育児サークルへの（職員）参加等 年長者（ころばーず）との交流 ・熊手商店街七夕制作出品 ・ばち川周辺清掃 ・園内植木の消毒 ・消防設備機器点検 ・設置遊具等の安全点検 <p>※毎月末に 園だより・献立表・給食だより・クラスだより（年1回）を発行し、配布する。</p>			